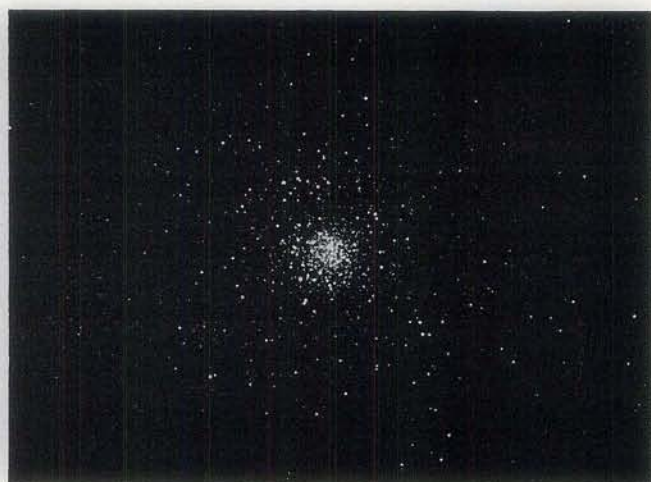
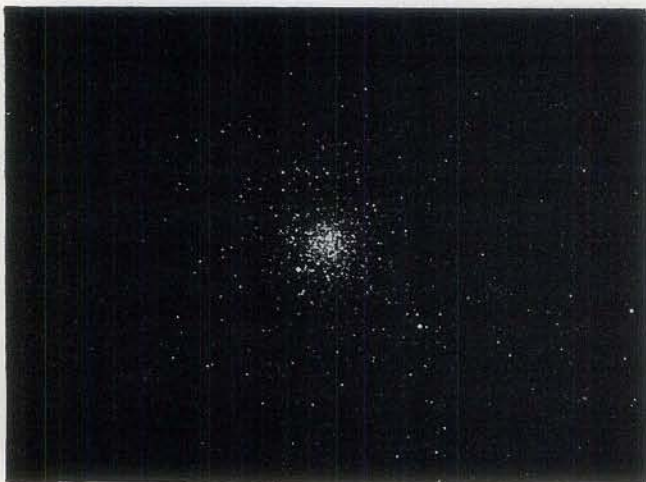


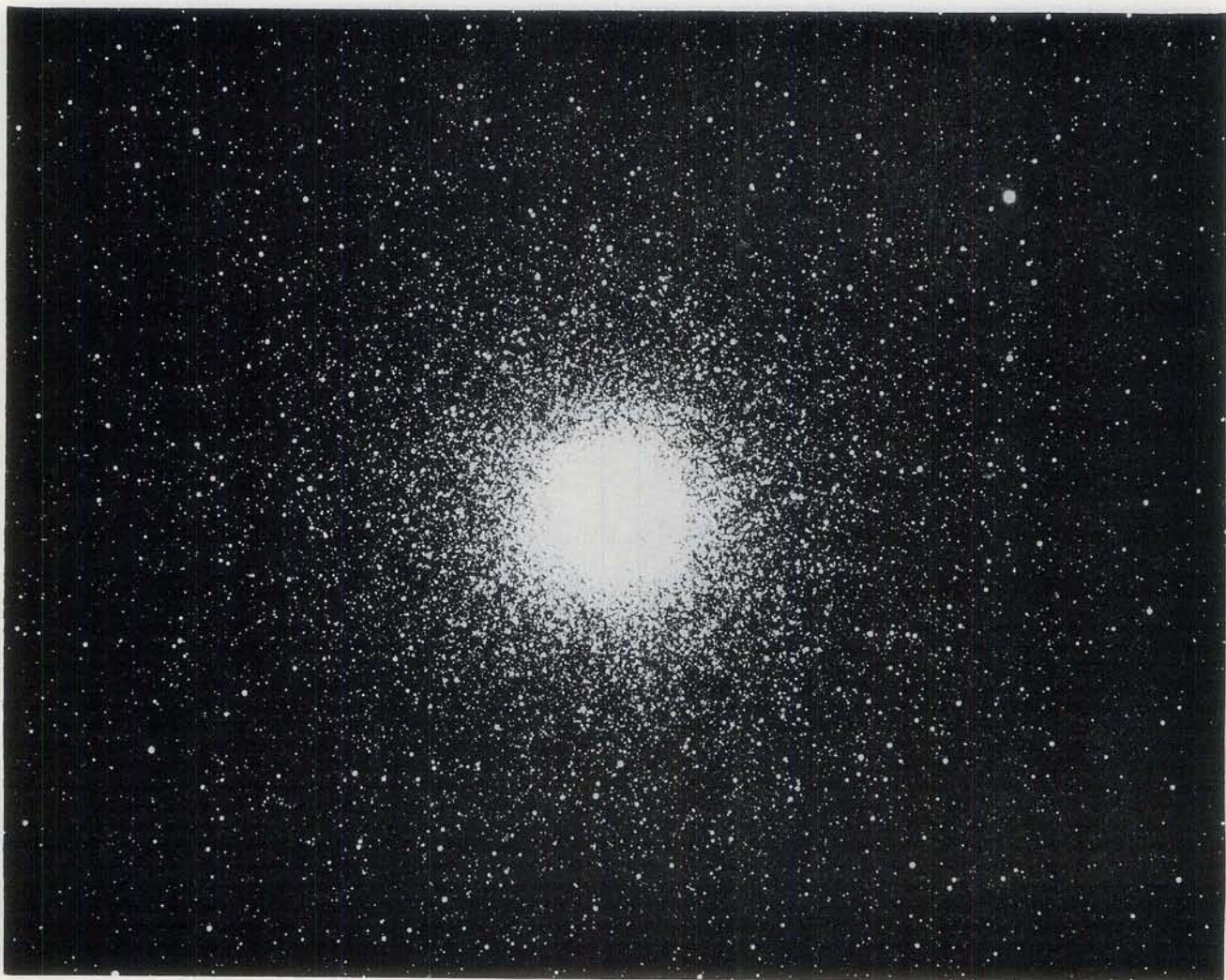
# 球 状 星 団



上: M5: キット・ピーク 2.1m 鏡により撮影。左は 1 分露出の B 乾板, 右は 2 分露出の V 乾板。これらの乾板は本文 161 頁の色 - 等級図の作製に使ったもの。左の方が相対的に明るく写っている星は

殆んど青色水平分枝星と変光星である。

下: M3: キット・ピーク 4m 鏡のリッチー・クレチエン(カセグレン) 焦点で撮影, 60 分露分の B 乾板。









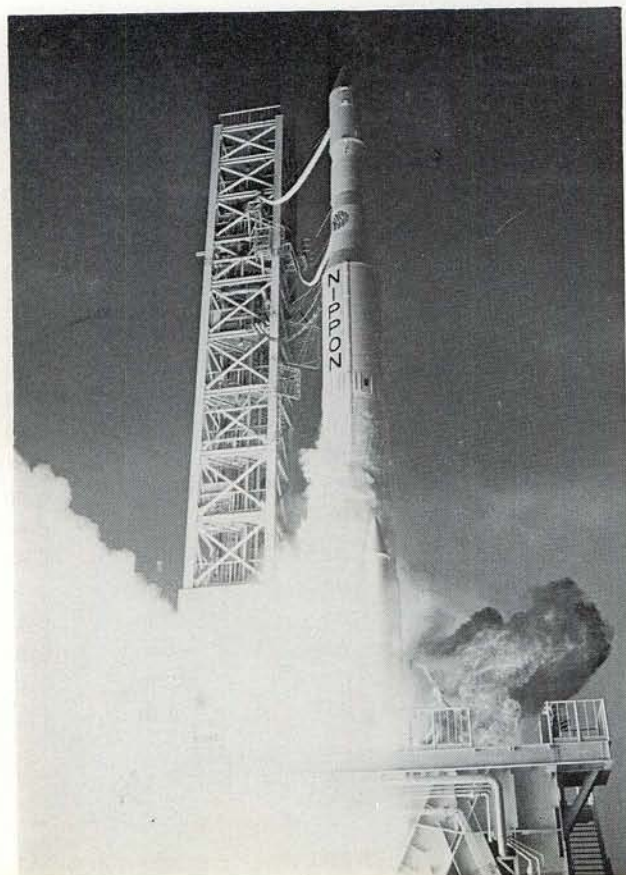
## 大澤清輝教授退官記念の談話会

東京天文台の大澤清輝教授は今年の4月1日付けで38年間勤められた職場を去られたが、それに先立ち3月18日に東京天文台の談話会で「A型特異星の変光」という題で講演された。同教授はA型特異星の分類においては世界的な権威である。60名近くの聴講者があり、盛会だった。講演の内容はいずれ本誌で紹介される筈である。講演後簡単な茶話会が催された。(成相恭二)



## 国産人工静止衛星きく2号

(写真提供 宇宙開発事業団)



◀ 1977年2月23日 17時50分  
種子島宇宙センターより打ち上げの瞬間

▼ ロケットの第3段の上に装着した EST-II  
(きく2号)

